



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月9日

上場会社名 株式会社キョウデン 上場取引所 東
 コード番号 6881 URL <https://www.kyoden.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 清隆
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 市原 敏明 TEL 03-5789-2273
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	15,641	16.3	1,916	8.2	1,256	△3.2	1,312	△3.3	875	△8.8
2022年3月期第1四半期	13,454	9.1	1,771	34.0	1,297	50.7	1,357	40.2	959	41.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,242百万円 (8.0%) 2022年3月期第1四半期 1,150百万円 (35.0%)

(※) EBITDA=営業利益+減価償却費

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	17.62	—
2022年3月期第1四半期	19.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	57,853	24,371	41.9
2022年3月期	53,412	23,978	44.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 24,268百万円 2022年3月期 23,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,000	13.3	5,800	13.8	5,700	11.6	4,100	9.5	82.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、 除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	52,279,051株	2022年3月期	52,279,051株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,592,895株	2022年3月期	2,592,895株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	49,686,156株	2022年3月期1Q	49,686,196株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境概要は、段階的な景気の回復が見受けられる中、新型コロナウイルス感染症の再拡大や、資源価格の高騰に伴う物価の上昇、半導体を始めとした部品供給不足、コンテナ不足による物流の停滞等と経済環境の正常化に向けての見通しは依然不透明となっております。このような経済環境のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比16.3%増の15,641百万円、EBITDAは前年同期比8.2%増の1,916百万円、営業利益は前年同期比3.2%減の1,256百万円、経常利益は前年同期比3.3%減の1,312百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比8.8%減の875百万円となりました。

なお、EBITDA（営業利益＋減価償却費）を重要な経営指標と位置づけ、当第1四半期連結累計期間よりEBITDAを業績指標に採用しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（電子事業）

電子事業全般に関しましては、キョウデンの特色である多岐に渡るアプリケーションに於いて、アミューズメント関連を除きすべてにおいて前年比を上回る結果となりました。

国内電子事業につきましては、5G・IoT関連需要に伴う受注増加により主要アプリケーションの前年比は「産業機器（半導体製造装置／産業用ロボット／測定器（ネットワークアナライザー等）他：31%増」、「インフラ系（セキュリティー監視カメラ／社会インフラ）他：28%増」、「センサー・モジュールデバイス：22%増」「通信／IoT関連機器：18%増」でありました。このような環境下のもと、電子事業全体の売上高は前年同期比13.7%増の12,252百万円、EBITDAは前年同期比8.4%増の1,609百万円、セグメント利益に関しましては、中期経営計画における設備投資により償却費が189百万円増加し前年同期比6.2%減の1,001百万円となりました。

今後の見通しに関しましては、電子事業の24%を占める車載関連（海外電子事業）に於いて、第2四半期以降世界的な減産の煽りを受けることが予想されますが、引き続き堅調な国内受注環境と主要工程における24時間稼働による生産性の向上、また設備投資によるキャパアップを下期に計画しており、国内電子事業が牽引していく予定です。

なお、業績予想に関しましては通期で開示しておりますが、今期につきましては下期偏重で推移することを見込んでおります。

（工業材料事業）

工業材料事業につきましては、国内製造業の緩やかな生産活動の回復継続や資源価格の上昇を背景に、グラスファイバー原料製造、金属系原料・窯業原料の仕入れ販売事業の売上が伸びたほか、一般的に堅調に推移しました。一方で原材料、海上運賃やエネルギー価格の上昇が収益を下押しする状況が続いています。その結果、売上高は前年同期比26.5%増の3,389百万円、EBITDAは前年同期比7.5%増の307百万円、セグメント利益は前年同期比10.3%増の254百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は57,853百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,441百万円増加しました。主な増加は、売上債権の増加546百万円、棚卸資産の増加1,660百万円及び有形固定資産の増加2,577百万円であります。

負債の残高は33,482百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,048百万円増加しました。主な増減は、支払手形及び買掛金の増加93百万円、電子記録債務の減少265百万円及び借入金の増加4,024百万円であります。

純資産の残高は24,371百万円となり、前連結会計年度末に比べ392百万円増加しました。主な増加は、利益剰余金の増加30百万円及び為替換算調整勘定の増加371百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,578	6,450
受取手形、売掛金及び契約資産	15,139	15,551
電子記録債権	3,038	3,172
商品及び製品	2,860	3,647
仕掛品	3,293	3,600
原材料及び貯蔵品	4,226	4,793
その他	739	715
貸倒引当金	△136	△149
流動資産合計	35,738	37,782
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,580	4,086
その他(純額)	11,821	13,893
有形固定資産合計	15,401	17,979
無形固定資産		
	255	279
投資その他の資産		
その他	2,171	1,970
貸倒引当金	△155	△158
投資その他の資産合計	2,016	1,812
固定資産合計	17,673	20,071
資産合計	53,412	57,853

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,279	8,372
電子記録債務	1,658	1,392
短期借入金	5,700	8,388
1年内償還予定の社債	180	180
1年内返済予定の長期借入金	2,345	2,150
未払法人税等	769	402
賞与引当金	444	170
その他	3,252	4,129
流動負債合計	22,627	25,185
固定負債		
社債	60	60
長期借入金	3,066	4,597
役員退職慰労引当金	8	6
退職給付に係る負債	2,787	2,814
その他	883	819
固定負債合計	6,806	8,297
負債合計	29,433	33,482
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,358	4,358
資本剰余金	4,174	4,174
利益剰余金	16,634	16,664
自己株式	△491	△491
株主資本合計	24,675	24,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76	56
為替換算調整勘定	△885	△514
退職給付に係る調整累計額	10	21
その他の包括利益累計額合計	△799	△437
非支配株主持分	103	103
純資産合計	23,978	24,371
負債純資産合計	53,412	57,853

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年6月30日)
売上高	13,454	15,641
売上原価	10,710	12,789
売上総利益	2,744	2,852
販売費及び一般管理費	1,446	1,596
営業利益	1,297	1,256
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取賃貸料	3	3
為替差益	—	32
補助金収入	71	—
その他	33	50
営業外収益合計	109	87
営業外費用		
支払利息	17	16
為替差損	25	—
その他	6	14
営業外費用合計	49	31
経常利益	1,357	1,312
税金等調整前四半期純利益	1,357	1,312
法人税、住民税及び事業税	215	239
法人税等調整額	178	191
法人税等合計	393	431
四半期純利益	963	880
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	959	875

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	963	880
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	△20
為替換算調整勘定	190	371
退職給付に係る調整額	20	10
その他の包括利益合計	186	361
四半期包括利益	1,150	1,242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,146	1,237
非支配株主に係る四半期包括利益	3	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	10,776	2,678	13,454	—	13,454
外部顧客への売上高	10,776	2,678	13,454	—	13,454
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,776	2,678	13,454	—	13,454
セグメント利益	1,066	231	1,297	—	1,297

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	電子事業	工業材料 事業			
売上高					
顧客との契約から生じる収益	12,252	3,389	15,641	—	15,641
外部顧客への売上高	12,252	3,389	15,641	—	15,641
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,252	3,389	15,641	—	15,641
セグメント利益	1,001	254	1,256	—	1,256

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。